

「根戸小学校」「久寺家中学校」から御礼の手紙が届きました ～「新つくし野歩道橋」の供用に関して～

「新つくし野歩道橋」とは？

国道6号我孫子駅入口交差点において、国道を横断する歩行者の安全確保を目的とした「新つくし野歩道橋」が供用しました(平成25年8月30日11時)



※この背景地図等データは、国土地理院の国土電子Webシステムから配信されたものである。



(新つくし野歩道橋, 平成25年11月撮影)

御礼の手紙

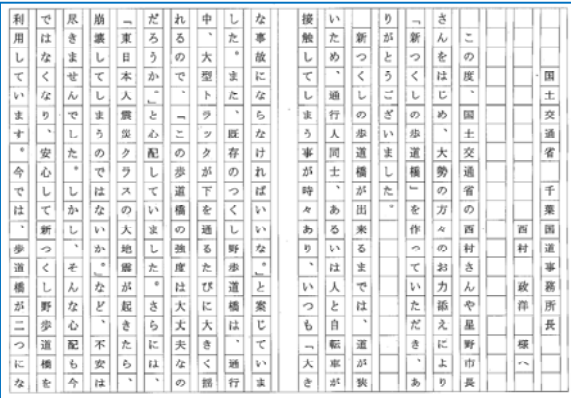
「新つくし野歩道橋」を利用している「根戸小学校」「久寺家中学校」から、御礼の手紙が届きました。



【根戸小学校6年生の方からのお手紙】

- ・新しい歩道橋を作って頂きありがとうございます。
- ・今までは大変混雑していて、人とぶつかっていました。
- ・今は広くてスムーズに通れるようになり、安全に楽しく登校することができています。
- ・市民の方も自転車の方もスムーズです。
- ・これからも大事に使います。

※画面をクリックすると手紙が拡大されます。

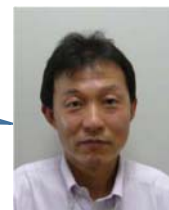


【久寺家中学校2年生の方からのお手紙】

- ・新しい歩道橋を作って頂きありがとうございます。
- ・今までは道が狭いため、大きな事故が起きないことを案じていました。
- ・今は通行する人々も分散され、とても歩きやすいです。
- ・今後とも、市民の暮らしと幸せを守る行政を宜しくお願ひします。

※画面をクリックすると手紙が拡大されます。

- ・お手紙ありがとうございます。
- ・未永く、新しい歩道橋を大切に使って下さい。
- ・今後とも、安全・安心に道路をお使い頂けるよう、我々も頑張ります。



【千葉県国道事務所長 西村政洋より 一言】

【参考】 「新つくし野歩道橋」の整備による効果

「新つくし野歩道橋」整備前の課題

- 我孫子駅入口交差点には、昭和52年に「つくし野歩道橋」が設置されていましたが、歩道橋周辺の居住者が増加し、歩道橋上での混雑が発生していました。
- 歩道橋が片側にのみ設置されていたため、柏側に住む児童が根戸小学校に通学するためには、市道を2回横断する必要がありました。

「新つくし野歩道橋」整備による効果

- 両側に歩道橋が設置されたことによって、「つくし野歩道橋」と「新つくし野歩道橋」の両方がバランスよく利用されるようになりました。
- 柏側に住む児童が根戸小学校に通学する際に、市道を横断することなく通学できる経路が確保されました。

「新つくし野歩道橋」整備前

< 平成23年10月4日（平日）の調査結果 >



「新つくし野歩道橋」整備後

< 平成25年9月11日（平日）の調査結果 >



千葉国道事務所からのお願い

- 自転車で歩道橋を利用するときは自転車を押してわたりましょう
- 歩道橋の上では遊ばないようにしましょう

